



テーマ
Theme
学校名
School
講師等
Lecturer
実施日
Date
教科等
Subject

「ネットトラブルで加害者にも被害者にも
ならないために知ってほしいこと」

甲賀市立甲南中学校（1年生）、保護者（全校）

株式会社 NTT ドコモ

平成 24 年 7 月 19 日

総合的な学習の時間

授業
Class

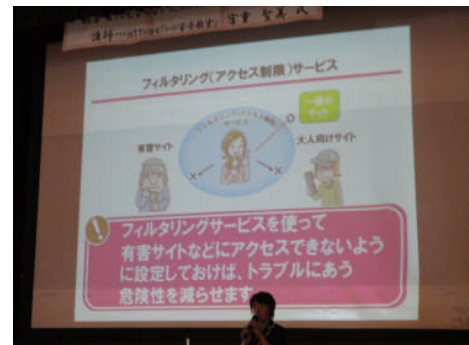
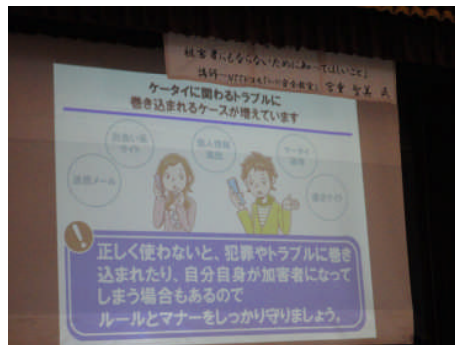
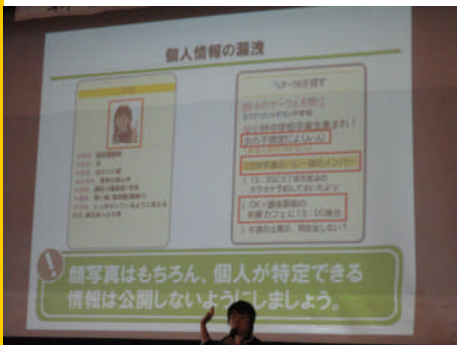
生徒が携帯電話の利用で犯罪やトラブルに巻き込まれるケースを防ごうと、サイトやメール、アプリ等の利用時の危険回避等について学びました。

ネット上でゲームに参加し、見知らぬ人とアイテムの貸し借りやメールの交換をするうちに親近感がわいて、自身の顔写真を送ってしまうと、ネット上にばらまかれたり、会うことや金銭を要求されたりする事例を紹介され、「騙される危険」について話されました。

また自身が掲示板やチャット等へ書き込むことで加害者にもなり得ます。書き込んだ言葉は「ログ」として記録に残るので他人を誹謗中傷すると、名誉毀損等で刑事処分を受けたり、損害賠償を求められたりすることもあります。書き込む際は「自分が書いたと知られても平気か。相手に面と向かって言える内容か」と一呼吸おいて読み直すことが肝要だと言います。

プロフ（携帯サイト上に自己紹介ページを作成できるサービス）に気軽に写真や近況をアップロードすれば、スマートフォンの GPS 機能で撮影場所の緯度・経度が判明する等、複数の情報で容易に生活圏内等が特定されてしまうほか、写真を悪用・拡散されるケースもあります。

参加した保護者には、ネット上の違法・有害情報全般にアクセスを規制する「フィルタリング」の強度を上げることや、解除手を厳格化するサービスの利用を促されました。



感想
Impression

生徒より Impression from Children

- どうして危険なのか、どんな風に犯罪に巻き込まれていくのかがわかってよかったです。
- 携帯電話を持っている友人から、犯罪に巻き込まれそうになった話を聞いたことがあったけど、本当に騙されたり脅されたりするケースがたくさんあるのだなと思いました。安易にサイトやゲームのアプリで見知らぬ人に自分の情報を教えたら、危険だとよくわかりました。
- クラスの半分くらいの友達が携帯電話をもってメール交換をしているので、携帯電話がほしくて仕方なかったけど、ちょっと怖いなと思いました。親が反対している理由が少しわかった気がします。
- 携帯電話はまだ必要性が感じられないし、知らないうちに犯罪に巻き込まれる危険があることがわかったので、なおさら今はまだいらなないと思いました。

学校より Impression from school

講師の方が講演に慣れておられ、とてもスムーズに終わることができました。
参加された保護者から「親自身も最近のネット事情について知らないことばかりで驚きました」。「改めてネットトラブルについて考えるよききっかけになりました」という感想がありました。

講師より Impression from lecturer

夏休み前の重要な時期に「ケータイ安全教室」のご依頼を頂き、ありがとうございました。短縮授業だったため時間の関係上早口になりましたが、「役立つ授業だった」とのお言葉を頂きました。
保護者の方の半数以上が参加頂き、関心の高さが伺われました。また携帯電話未所持の生徒さんが多く、所持前に保護者の方とモラル・ルールのお話を聞いて頂き、効果的な授業になりました。